

# たらぎ議会だより

# たま

No.87

平成24年11月8日  
熊本県多良木町議会発行



## 9月 定例議会

平成23年度 町の家計簿 ... P2~P4

一般質問 町政、ココを **問う!** ... P6

東日本被災地を訪ねて!! ..... P14

でかしたぞ!! なつ号!  
グランドチャンピオン!



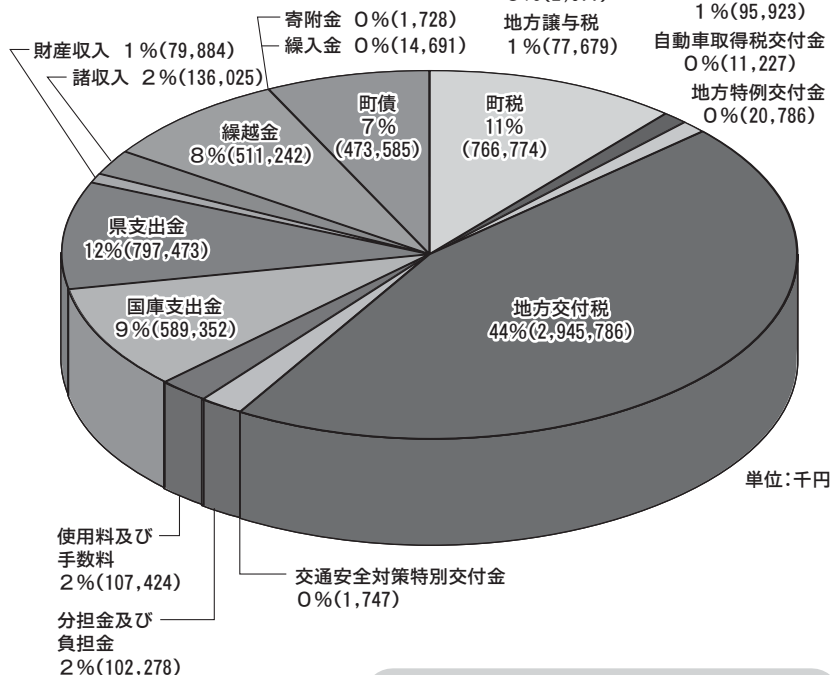
# 決算を認定!!

賛成 11

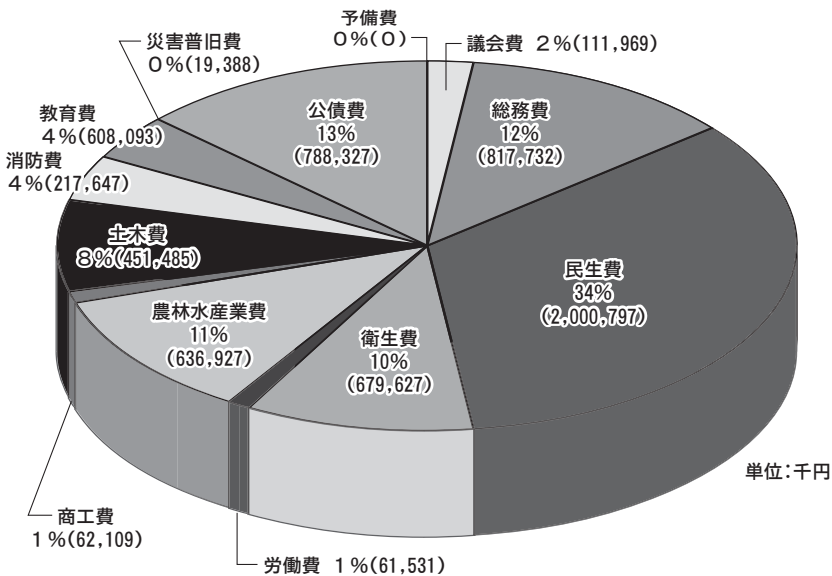
反対 1

収入額 67億3,683万円

株式等譲渡・所得割交付金 0%(278)



支出額 64億5,563万円



※ 平成23年度は2億8,120万円の繰越金となり、翌年度へ繰越すべき財源2,173万円を差し引くと実質収支は2億5,947万円である。前年度実質収支3億3,902万円を差し引くと単年度収支は△7,955万円となる。また、単年度収支に財政調整基金積立金(5,388万円)をプラスの要素とし、地方債繰上げ償還金及び財政調整基金取崩し額は無かったので実質単年度収支は△2,567万円となっている。

平成24年第5回定例会は、9月10日から21日までの12日間開催され、報告1件、条例改正6件、同文議決1件、補正予算6件、平成23年度決算認定7件、選任同意2件、委員長報告2件、発議2件、追加日程で発議1件が提案され慎重に審議した結果、原案どおり賛成多数で可決、認定されました。また、一般質問には8名が登壇し、町長の考えを質しました。

# 平成23年度 町の家計簿 (決算認定)

# 平成23年度 一般特別会計

# 歳入・歳出

柿川地区用水施設整備事業  
事業費 7,270万円



大久保地区畑地帯総合整備事業  
事業費 1億5,880万円



平成23年度の主な事業

## 町の診断書（監査委員決算審査意見書より抜粋）

平成23年度一般会計及び特別会計の歳入歳出決算については違法な点は見受けられず、関係諸帳票、証拠書類等は収支決算書と照合の結果合致しており、決算係数は正確で、予算執行状況及び事務処理についても概ね適正であると認めた。また、実質収支に関する調書の計数は正確で、収入支出等の事務は関係法令に適合しており、財産の管理については適正に行われていることを認めた。

一向に回復しない景気低迷のなか、起債の増加等今後の財政運営が厳しくなることも勘案し、町税をはじめ各種自主財源を確保して効率的な執行により経費削減に一層努めるよう強く望む。

平成23年度末の普通会計地方債現在高は6,099,804千円で、人口一人当たり571,250円で、前年同期より一人当たり10,082円減少している。

本町は、長引く景気低迷により町税収入の減、財産収入の伸び悩み等自主財源に恵まれず、また、公立保育所、学園を運営している関係上、扶助費の占める割合も多く、経常的経費が多くの部分を占めざるを得ない現状にある。財政構造の健全性からも公債費比率は10%を超えないことが望ましいとされているが、23年度の公債比率は8.7%で、前年度比0.8ポイントの減となっている。近年、数値は減少していたが本年度も改善が見られた。

今後も財政運営の健全性からして、特段の配慮と努力を望む。



道路整備事業（事業の一部・町道赤松線）  
事業費 2億0,361万円

平成23年度の主な事業



世代間交流グラウンド整備事業  
事業費 8,951万円

## 平成24年度 補正予算

## 一般会計 2億1,335万円追加 総額:64億8,888万円

## 《主なもの》

*くま川鉄道経営安定化補助金	1,477万円
*介護・訓練等給付費	4,256万円
*介護基盤緊急特別対策事業補助金	3,750万円
*用水施設整備事業測量設計委託料(増谷地区)	1,300万円
*緑の産業再生プロジェクト推進事業補助金	1,183万円
*住宅リフォーム補助金・多良木町中小企業振興補助金	1,170万円
*桑木丸地区外7箇所農業用施設等災害復旧工事	950万円
*林道槻木北線災害復旧工事	955万円
*熊本土地利用型農業緊急支援事業補助金	358万円
*青年就農給付金	113万円

## 国民健康保険 2,683万円追加 総額:14億7,917万円

*特定健康診査事業費・国県補助金等返納金	218万円
*償還金・国県補助金等返納金	2,473万円

## 久米財産区 431万円追加 総額:1,519万円

*伐出費	233万円
*基金積立金	103万円

## 後期高齢者医療 89万円減額 総額:1億3,066万円

*被保険者保険料負担金	△98万円
-------------	-------

## 上水道事業 100万円追加 資本的支出:1億1,023万円

*道路改良に伴う移設	1,800万円
*中央監視室を除く外部施設改修工事	△1,700万円

## 介護保険 4,555万円追加 総額:12億5,396万円

*介護保険給付基金積立金	991万円
*国県補助金等返納金	1,606万円
*一般会計繰出金	1,902万円

## 【再任】 椎葉 袈史氏

同氏が平成24年10月29日をもって任期満了となるため再任されました。  
平成12年より教育委員会委員となり今回で4期目となります。

教育委員  
選任

## 【再任】 宮本 康江氏

同氏が平成24年10月29日をもって任期満了となるため再任されました。  
平成20年より教育委員会委員となり今回で2期目となります。



議案審議・条例改正・請願・陳情

条例改正は！

議案第50号 多良木町公民館条例の一部を改正する条例を定めることについて

審議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験者のある者の中から教育委員会が委嘱する。

これまでは、2年の任期で社会教育委員10名で兼務していました。

請願・陳情・意見書は！

請願書 建設に働く仲間と地域経済を救うルールづくりの請願

提出者 熊本県建築労働組合人吉球磨支部 執行委員長 境目 和人  
紹介議員 久保田 悦子

不採択

請願書 消費税率引上げ等に断固反対する意見書を求める請願

提出者 熊本県建築労働組合人吉球磨支部 上球磨分会 矢立 正勝  
紹介議員 久保田 悦子

一部採択

意見書 地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書提出について

提出者 議会議員 山中 馨（経済建設常任委員会付託）

採 択

意見書 消費税増税に伴う病院経営負担軽減策を求める意見書提出について

提出者 議会議員 森下 孝幸（総務常任委員会付託）

採 択

意見書 消費税増税法成立に伴う小零細業者等の救済措置を求める意見書提出について

提出者 議会議員 森下 孝幸（総務常任委員会付託）

採 択

陳情書 九州における震災瓦礫処理についての陳情書

東京都杉並区 菅原 夏実

議員配布

陳情書 障害者総合福祉の制定に関する陳情書

熊本障害フォーラム(KDF) 会長 松 永 朗

付託（厚生文教常任委員会）



皆越秋廣議員

**Q** 三期目の出馬の  
意思は

**A** 三期目も出馬します

**質問** 町長任期もあと  
数ヶ月となったが、3  
期目についてどう考え  
ておられるのか。

**町長** 2期8年、初当  
選以来いろんな目標に  
向かっているが、まだ  
私の思っている所に来  
ていません。来期も町  
民の皆様の支持を受け  
てやらせて頂きたいと  
思います。

**Q** 職員の自衛隊研修は  
現在実施しています

**質問** 職員の自衛隊研  
修は、考えられないの  
か。

**町長** 自衛隊研修につ  
きましては、毎年計画  
的に実施しています。

熊本県町村会の主催  
により新規職員を対象  
に昨年度本町では、新

規採用の職員の研修と  
言うことで4月の前半  
に3泊4日で実施し、  
自衛隊での生活体験を  
通じて規律訓練や体力  
検査等を行ない、公務  
員としての意識向上や  
態度を養成の目的とし  
て行なっておりました。

**Q** いじめ対策は  
文書報告でなく実態  
把握の聞きとりを

**質問** いじめによる新  
聞報道がなされている  
が、町内の小・中学校  
には、いじめはないの  
か。また、いじめ対策  
等は考えておられるの  
か。

改めていじめの内容を  
幅広く調査しました。  
各町内小学校で悪口  
・嫌がらせ・無視等又、  
叩かれた事実がありま  
した。いづれも担任の  
指導や保護者との話し  
合いで解決してしまし  
た。これまで教育委員

**溝口 教育長** 7月の  
校長会でいじめは無い  
と聞いていましたが、

会は報告を文章でその  
まま受けていましたが、  
今後は実態を校長から  
しっかり聞いて教育委  
員会としての把握が必  
要と思っています。い

じめ対策は学校教育ば  
かりではなく社会教育  
を含め、また、地域全  
体で取り組んでいきたく  
と思います。

**Q** 無人ヘリコプターによる  
肥料散布は  
**A** 肥料散布までは考えていない

**質問** 無人ヘリコプター  
による水田防除が実  
施されているが、肥料  
散布の効率面も考えて  
広く呼びかけることは  
できないのか。

松崎 農林課長 無人  
ヘリによる航空防除は  
農事組合法人ACS多  
良木が行なっています。  
依頼者のニーズの調  
整を含め農地の集積効

率面を考え、組合員に  
相談しながら実施して  
きました。肥料散布は  
今のところ考えていま  
せん。ヘリコプターが  
一機千二百万円位する  
し、アタッチメントの  
価格関係もあります。  
現在は田植機に側状施  
肥機がついているので  
その分で  
対応され  
ています。



無人ヘリによる防除

**Q** マニアスプレッターの  
購入は  
**A** 将来的には導入  
計画している

**質問** 堆肥の販売促進  
のため、マニアスプレ  
ッターを購入すること  
は考えられないのか。

松崎 農林課長 町と  
しても以前マニアスプ  
レッターの導入を考え  
てきた経緯があるが、  
堆肥の販売量の増加や  
高齢者の方の土づくり  
の観点から将来的に堆

肥センターでマニアを  
導入する必要も考えて  
います。

**全ての質問事項**

- ① 町長の政治姿勢につ  
いて
- ② 職員管理について
- ③ 教育振興について
- ④ 農業振興について



坂本一郎議員

## Q 新築木造住宅の補助金制度は

## A 補助金制度については今後の検討

質問

優良な多良木町

産材を利用して地元建築業者で木造住宅を新築した者に対して、補助金を交付することは出来ないか。補助金を交付することにより、林業の振興を始め、木材関連産業の振興及び人口の定住促進を図る事が出来ると思うが町長の見解を尋ねたい。

松崎 農林課長 多良

木町産材の利用促進は林業振興を図る上で非常に重要なことです。町産材の木を使うこと

に対しては補助は、前々から考えてはおりませんでした。材価が低迷する中では特に振興を図っていききたいと思い、今後、林業振興を図る上で内容等をもう一度検討したいと思います。

町長 本町では公共物

を造るときはできるだけ

け木材を使うように進めています。国のほうも平成22年10月に促進法を制定してあり、県もそれを推進しているので、それに対して助成策も出ており、今以上に利用促進されると思います。また資金と

Q

いじめが社会問題に

A

教育長としての職務、責任の重大さ

質問

滋賀県大津市事

件を始め、いじめが大きな社会問題になっているが、教育長は教育者としてどのように思われているか。

溝口 教育長 いじめ

は命に関わる重大な問題であると受け止めています。いじめは昔からあったとか、そのく

なる基金をつくること

は、今の段階では難しい。それぞれの町村の状況もあり、今後の町村会においても、木材の利用促進については、情報交換なり、話し合いをしていきたいと思っています。



木材をふんだんに利用した新築現場

長としての責務、責任の重大さを重く感じています。多良木町の子供に、事件に絶対遭わせない、学校づくりをしていき、こういう事態が発生したときの学校、教育委員会の対応

らいはということ考えてはいけないうと、深刻にこの問題については捉えなければならぬと思います。自殺にまで発展する、この問題に

対して教育



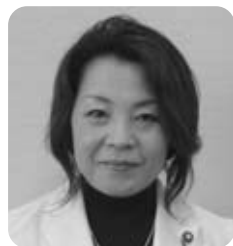
いじめ撲滅啓発ポスター

をしつかりしなければならぬと思います。また社会全体に学校、教育委員会、教育行政の信頼というのを根本から損なってしまう。教育は何といても保護者、地域住民の信頼によって成り立つ営みです。今後も、学校ばかりでなく、町民の方々のご支援、ご協力をいただき学校づくり、教育に取り組みたいと意を新たにしているところです。

### 全ての質問事項

- ① 林業振興について
- ② 水源地域の保全について
- ③ 町職員に対する交通安全教育について
- ④ 小・中学生のいじめ問題について
- ⑤ 県道人吉・水上線について





高橋裕子議員

### Q 町の活性化に繋がる農業の在り方の構想は A 儲かる農業へと模索しながら

質問 基幹産業である農業の活性化が町の活性化に繋がるという点では共通の認識であるが、農業人口減少の根本的原因はどこにあるとお考えか。また行革答申に、町の改革は産業革命的考えとそれを

質問 実行する強い意志が必要とあるが、これからの農業のあり方についての構想を尋ねたい。農業の活性化には、農業人口減少に歯止めをかける事、専業農家として成り立つ仕組みの構築・経営に重点を置

く組織による多角的・包括的運営の推進と、それを実現するための実務的援助を行政として待ったなしで推進すべきと考えるが、こういう方向に対する考えを尋ねたい。

松崎 農林課長 専業農家は平成元年350軒・平成22年220軒と130軒の減少であり考えられる原因として、農業所得が低いため子どもに継がせない・初期投資が非常に大きい為、新規就農者が少ない等があると思う。農業従事者

の確保が最大の問題であり、労働内容の改善点として、就業時間・休日・所得の安定といったサラリーマン農業としての会社組織の育成も進めている。

町長 一つの原因として農業所得が低いのが、後継者が育たない要因になっていると思う。契約栽培による価格の保障と収入の目安をつけ、儲かる農業で所得

を上げること。これは一番難しい問題であり、今後も模索しながら推進していかなければと思っています。本町では16の集落営農の集団があり農業法人が1カ所で6次産業としてモデル的状况だと思っています。その成果を株式会社の方向へと繋げていくよう引っ張っていただくことが大事だと思っています。

### Q 町づくりの柱となる構想は A キヤッチフレーズ的に「健康で明るい誇りのもてるまちづくり」

質問 町民はどういうリーダーを求めているとお考えか。また今後の町政に対してどういう考えをお持ちか。町づくりの柱となる構想を含め、具体的な考え

を尋ねたい。

町長 リーダーとしてはまず、公正・公平であること、事業に対しては、結果・反省・分析・評価を徹底し、町政全体の総合的判断も

必要である。一番は生活福祉の向上、それを実行していくリーダーだと思う。町民が生活の向上を目指し、各部門で少しでも向上していく。いろんな事業を

やりながら分析し、一歩一歩進んでいく。優先順位は町民の健康・雇用の場の確保であり、漠然としているがキヤッチフレーズ的に「健康で明るい誇りのもてるまちづくり」を具体的に一つずつ進めていくように考えている。



多良木町役場

#### 全ての質問事項

- ① 学力向上の対策について
- ② 町の活性化について
- ③ 第3次行政改革大綱の進捗状況について
- ④ 町政に対する方向性について





中村正徳議員

**質問** 天候不順により農作物の収穫にも影響が出ていると聞くが、どの様に把握されているか。また、農業所得減収に対する支援策、課税に対する優遇処置はあるのか尋ねます。農業所得も天候に大きく左右されますし、農家個別保証制度も先行が不透明であり、農業経営も厳しいものがあります。農業所得向上に向けた「熊本農業アカデミー」が開催されていると聞くが、本町での取り組みについて、尋ねたい。

**Q** 天候不順による農作物への影響は  
**A** 日照不足による減収

**松崎 農林課長** この

時期の農作物の主なものは葉タバコです。農業所得でも非常に大きなウエイトを占め、この時期にほとんど消費ができず、病気による収穫量の減少、日照不足による葉の重さが非常に少なかった。

また、「熊本アカデミー」には、6次産業化チャレンジコースに2

名が参加予定。内容として、農産物加工講座がメインとなります。また、それと農業経営高度化コースに、若

手の野菜農家から2名の受講者が申込みされています。



葉タバコ

内容としてはネット販売、農産物輸出講座で輸出に必要なマーケティングと、流通・検疫・間税などを学ぶことで非常に高度な知識を得るといふことです。

**今井 税務課長** 災害

による被害者に対する町税及び国民健康保険税の減免に関する条例があり、農業所得にかかる町民税の所得割の額について、区分により軽減し、免除することです。実際に確認でき、申請があれば条例に基づいて対応したいと思えます。

**Q** 火葬場移転に伴う疑問点  
**A** 平成元年に議決

**質問** 人吉球磨広域行政

政組合議会において（9月29日）多良木火葬場廃止条例が決定され10月1日より免田斎場に移転しますが、多良木町議会では、この事が議決採決成されていません。また、10月からの免田斎場の管理費、負担金等、予算処置、予算の組み替えも含めて議会の議決がなされていない、これは

予算の流用にあたると思います。次に多良木火葬場の施設が、いつから広域行政組合の資産となっていたのか、それをなぜ今回、多良木町が無償で払い下げを受託したのか、跡地についても共同処理すべきではないか。上記の事柄について、議会の議決、せめて十分な

議論を経ていけば、何

ら問題もないことをなぜ町長はやらなかったのか議会制度の逸脱だと思いが、どの様に思われるのか尋ねたい。

**平川 町民福祉課長**

多良木町の火葬場は人吉球磨広域行政組合で管理を行っています。これについては平成元年の議決により、広域行政組合管理ということになっていきます。一部事務組合は、制度概要の一つに共同処理する事務は、関係市町村公共団体の機能から除外され一部事務組合に引き継がれ、多良木火葬場の構成自治体は多良木町のみで、火葬場運営業務は人吉球磨広域行政組合に事務委託し、多良木町に及ぶ権限がなくなるのです。

また平成元年に広域行政組合が設立された折に、管理運営を広域行政組合にお願いし譲渡されたものです。

**町長** 一部事務組合の運営ということから、

議決する状況ではないので、議題として執行部から提案しなかったものです。予算の組み替えも、一部事務組合の中での議決でやるということでしたので、広域行政組合の中で議題として挙げられ、可決したものです。また多良木火葬場は本町だけでやっており、最終的には負担金は町が出すことになり、今回は無償譲渡を受けた後に解体することになると思っています。

**全ての質問事項**

- ① 農業振興策について
- ② 道路整備計画について
- ③ 再生エネルギーについて
- ④ 町長の施政方針について



吉瀬浩一郎議員

質問

今回の火葬場の統合は、客観的に見れば、あさぎり町と錦町の利益になる。今後あさぎり町、錦町、両町でも火葬の件数は増加してくるので火葬炉を4炉にすることも当然、あさぎり町、錦町の利益になる。いっぽう、多良木が持つていく負担金1億5千万程度で多良木に火葬場が出来るのに、それを放棄して、経済的な損失も意に介せず、住民の方々に遠い免田まで行くことを強要することがはたして、多良木町の利益にかなうことなのか。三町の人口は約3万9千人である。3つの火葬炉で大丈夫なのか。あさぎり町も錦町も

**Q** 統合は、誰が得をし、誰が損をしたのか  
**A** 統合は総合的に判断した



天翔苑 (あさぎり町)

ちを汲んでおられない政治である。それに気付かない町長の政治姿勢と住民の皆さんの願いとのか、その乖離のあまりの大きさに、深い失望を感じる。

みの見物で何もしない、黙って事の推移をみているだけである。ただ、多良木町だけが、あさぎり町へ接近していく。政治はその渦中にいるときは判断が難しい。しかし、終わったあとに判断した時に、どこの町が得をして、どこの町が損をしたのか、ハッキリしてくる。火葬場の統合という今回の町長の決定は、明らかに住民の皆さんの気持ち

町長 免田葬斎場を4炉にするという計画は数年後ではなくて、近い将来ということである。広域行政組合のほうでも早く4炉目を設置してもらいたいとの要請があっている。補助金が下り次第即刻取りかきたい。3ヶ月位を目途に設置したいと思っている。その間、処理できない数の方が亡くなられる場合もあるかもしれないが、そ

こは心配であるし、地域経済に対する多大な損失という部分はあると思うが、管理を広域行政組合にお願いしていたということ、それに建設費、維持費など、総合的に見て免田葬斎場にしたいほうがよいと判断した。

**Q** 町立保育所を残す方向で、派遣職員の救済方法は

**A** 町立保育所を廃止、統合の考えはない、救済は考える



第1保育所運動会  
写真提供・豊永和明氏

質問

内部でどのような協議がなされているのか。議会に対する説明はどの時点でされるのか。役場、病院、など公的な機関が雇用の中心を担っている。現在勤務している派遣職員の方々を救済する方法を考えていただきたい。また、町立保育所を残す方向で検討していただきたい。

西 子ども対策課長

本町における公立保育所のありかたを検討するため行政改革専門部会による会議がこれ

まで4回行われている。派遣の先生方については、そのまま就業、雇用するのが一番いい、と考えている。しかし、新しい派遣法では継続できないので民設民営となるかもしれない。非常勤、臨時職員として雇用は可能と思う。

町長 町立保育所を残すということも含め、白紙で諮問しているところである。2つの町立保育所をなくす、あるいは統合しようという考えはない。説明は答申が出たあとになると思うが、今こういう状況であるという説明はできる。

全ての質問事項

- ① 火葬場統合問題について
- ② 公立保育所のありかたについて





村山 昇議員

## Q 児童・生徒の学力向上の取組は A 基礎「漢字・計算・読解力」・基本を全体に 思考力・表現力の活用能力を高める

**質問** 教育行政について、全国学力テストの結果を

を表彰する条例等の制定はできないか。

**溝口 教育長** 全国学力状況調査というものは、学力に関することばかりでなく家庭での学習環境も含めて行われます。知識の方は全体的に良いが、活用能力が全体的に落ちる。先生方の指導力の改善をし基礎・基本である漢字・計算・読解力の向上を目指し、思考力・表現力を子どもたちが活用能力を高める授業研修に努め、家庭での学習習慣の育成に力を入れ、学校・家庭と協力し学力向上に取り組んでいる。中学校の体育の武道必修化は柔道に比べて怪我が少ない冬の体育服装で出来て手軽であり、武道具も揃っている、指導者もおも、町全体が剣道に熱心に取り組んでいることから剣

道を選択しました。不登校の現状は毎月の報告面談で、3小学校はゼロで中学校が4人と不登校の数字が挙がっており、数字が挙がおり

道に比べて怪我が少ない冬の体育服装で出来て手軽であり、武道具も揃っている、指導者もおも、町全体が剣道に熱心に取り組んでいることから剣

道に比べて怪我が少ない冬の体育服装で出来て手軽であり、武道具も揃っている、指導者もおも、町全体が剣道に熱心に取り組んでいることから剣

道に比べて怪我が少ない冬の体育服装で出来て手軽であり、武道具も揃っている、指導者もおも、町全体が剣道に熱心に取り組んでいることから剣

道に比べて怪我が少ない冬の体育服装で出来て手軽であり、武道具も揃っている、指導者もおも、町全体が剣道に熱心に取り組んでいることから剣

ゲームデーについては、学校任せじゃなくPTA保護者主催で取り組んでもらえるようになって家庭での協力が得られるようになり、本を読むようになった、宿題をきちんとするようになったという効果が表れてきている。

**町長** 児童生徒の表彰事例については、表彰することによって自信を持ったり、人の模範となるということで頑張ろうという

う力につながると思うので、教育委員会部局と協議検討してみたいと思います。

## Q 農業後継者対策は A 営農支援により技術の向上を図る

**質問** 農業後継者対策と花嫁対策について、本町の基幹産業である農業の将来展望は決して明るいものではない、生命を維持する不可欠な食糧を生産加工をする農業後継者に今悩んでいる状況である。また、後継者の花嫁不足も、今大きな悩みである。農業を担う若者が住みやすいまちづくりを進めることが行政の責任

であると思うが対策等についてお尋ねしたい。

**松崎 農林課長** 今、町では後継者対策として、平成23年度から30万円を交付する制度を実施している。国の方でも青年就農者給付金事業を平成24年度から施行している。全国で1万5千人を希望者が超えたので平成25年度の予算については倍額にすると農林水産省が

発表している。また町では技術の向上を図らないと良い農作物は出来ない、営農支援をする農業アドバイザーの支援を実施している。

**町長** 花嫁対策については、郡内でも同じ悩みを抱えていて、9町村一緒にいろんなイベントを実施したい。イベントをする中で触れ合う機会を多くして、その中から1組・2組でも出来れば良いと思っており、今後もっとイベントを増やしながら、いろんな方法を考え結婚対策をしていきたいと思っています。



若手農業後継者の集い

- 全ての質問事項**
- ① 教育行政について
  - ② 農業振興について
  - ③ 節電対策について



久保田悦子議員

**Q** ルネサス錦工場の今後の対応は

**A** 存続に向け10市町村で対応

**質問** ルネサス錦工場では3年を用途に売却もしくは廃止の方向が出されている。人吉・球磨では40人以上の従業員が就労しており、閉鎖となれば地域経済は大きな打撃を受ける。工場存続に向けて人吉

・球磨一体となって取り組む必要があると思うが、どのように対応されるのか。  
**町長** 本町からも23名正社員として勤めており、すべての市町村長が存続を願っています。存続に向けて市町村で話し合っていて、行動に移したいと思いません。

**Q** 農産物加工品の取り組みや  
**Q** 加工場の必要性は  
**A** 組織強化に力を入れたい

**質問** 誘致企業に頼り過ぎず、循環型経済を守り発展させるうえで、農産物加工品の取り組みや、加工場の必要性についてどのようにお考えか。  
**町長** 農産物を加工して特産品を作っていくのは大変重要なことだと思います。組織強化にも力を入れながら、現在、取り組んでいる団体が今以上に生産量

**質問** 住宅リフォーム制度を持続的な制度にし、新築に対する補助等内容を拡充することで、この制度を特色あるものにできないか。  
**町長** 3年という期限付きで実施してきまし

**Q** 住宅リフォーム制度の拡充を  
**A** 前向きに検討したい

たので、3年終了した時点で検証をしたいと思っています。しかし、当然検証のなかで、経済効果、林業の活性化も含めたところで、今後、前向きに検討したいと思えます。

**Q** 福祉バスの実施を  
**A** 来年度に向けて実施検討

**質問** 福祉バス（タクシー）については2年ほど前から要望し、町長は「実施に向けて検討する」と答弁されているが、どのような結論が出されるのか。  
**町長** 財政状況をよく考えて、形式的に実施するのではなく実際、実施するからには利用者の方が満足していただけのような考慮しながら、来年度に向けて実施検討していきたいと思えます。



えびす物産館加工場

が増えて、一つの方向性が見えてきたら、応援していくのはやぶさかではないと思えます。

**Q** オスプレイ飛行訓練の対応策は  
**A** 町村会で対応したい

**質問** オスプレイは事故が多発、欠陥機と言われ配備反対の声が全国で起きている。九州の飛行訓練ルートはイ

エロールルートと言われ、球磨郡上空が入っている。多良木町としても町村会としても、飛行訓練反対の申し入れをすべきだと思いが、どのように対応されるのか。  
**町長** イエロールルートという飛行訓練ルートに、球磨郡内の上空が地図上に入っているの心配しています。私も当然、住民の生命財産を守るのが第一義的だと思いますので、今後は、球磨郡町村会に対応していきたいと思っています。



沖縄に配備されたオスプレイ

- 全ての質問事項**
- ① ルネサス九州・山口(株) 錦工場問題について
  - ② 地場産業の育成・援助について
  - ③ 福祉バスについて
  - ④ オスプレイの飛行訓練について
  - ⑤ 放射能に関する副読本について
  - ⑥ 川辺川問題について





山中 馨議員

質問 県内で豪雨や地震などの大規模災害に備えて食糧を備蓄している自治体は、4割に留まっていることが熊日のまとめで分かった。本町は水も食糧も備蓄されていない17市町村のなかにあるが、その実情と今後の対応は。

田中 総務課長 現物を役場倉庫等に保管し

久保 環境整備課長 現在、梅雨時期の豪雨等によりこの河川の土砂が下流側に流れ出て、下流の用水路等への土砂流入など農業施設等に少なからず被害が出ているようです。

Q 食糧・水・備蓄ゼロは

A ホームセンターと協定

ているという形ではありませんが、ホームセンター等に、水・乾パン・米を含めたところで、優先的に持ってきていただくような形で協定を結んでいます。

また、備蓄につきましても、少なくとも緊急避難をして一日、二日、最高長くても三日以内の食糧を確保したいと思っています。

Q 久米川内川の防災対策は  
A 湯前町と連名で治山要望を提出

質問 久米川内川の対岸は湯前町であるので、本町だけでは解決できないと思います。また、川に流れこんでいる土砂は、上流の国有林の崩壊によるものが大部分です。この川の防災は湯前町と連携をとり、県・国有林を管理する森林管理署に働きかけていかなければいけないと思うが、町の考えは。

この施設管理者である県に土砂掘削の要望を行って土砂発生の原因と考えられる上流部の山間部、溪流部の対策として県に対し、治山事業の実施要望を湯前町と本町の連名で行っているところです。



土砂が堆積した久米川内川

Q 百太郎溝で発電を  
A 実証を重ね普及に努めたい

質問 国交省は用水路を利用した小水力発電を後押しするために、国・県の許認可の簡素化を決めた。本町を流れる百太郎溝、幸野溝にも小水力発電を設置する考えはないか。

松本 企画観光課長 今年6月に県から小水力発電導入の適地についての照会があり、黒肥地・久米・多良木付近を調査しました。また、小水力発電導入マニュアルによると、

一番理想的な水路というのはいり農業用水路しかなく、百太郎溝農業用水路を本町から一つだけ候補としてあげています。  
町長 再生可能エネルギーの振興を図っていくことは大変重要なことだと思っています。今後は実証を重ね、普及に努めていきたいと思っています。

Q 観光振興は  
A 映画の撮影を誘致し、町民参加型の映画づくり

質問 東海大学の学生で本町の観光振興について調査、提言するプロジェクトを始めたところ、新聞に掲載されていたが、それについて今後の観光振興策は。

松本 企画観光課長 東海大学熊本キャンパスには、来年4月から経営学部観光ビジネス学科が新設され、地域にある観光資源を発掘し、ブランド化して

いくノウハウを学ぶ学科です。現在、総合経営学部、マネージメント学科の1年生15人と指導教授が本年度から3年ないし5年ほどかけて取り組みます。「熊本地域プロジェクト」により本町に観光などの地域振興策を提言するものです。

- 町長 山田監督による映画の撮影を誘致して、
- ①再生エネルギーについて
- ②観光開発について
- ③防災対策について

# あの日を忘れず、ともに未来へ

## 東日本大震災の対応と復旧・復興についての調査報告

総務常任委員会・建設経済常任委員会・厚生文教常任委員会

平成23年3月11日14時46分、三陸沖を震源として発生した東北地方太平洋沖地震（深さ約24km マグニチュード9.0）で東松島市は震度6強を記録。地震によって大規模な津波が発生し、東松島市野蒜(のびる)地区では15時40分頃に10.35mの高さの津波が観測され東北から関東にかけての東日本一帯に甚大な被害をもたらした。

東松島市においては、かけがえのない「命」を守り、災害に強いまち。「絆」を大切に、支えあいながら、だれもが安心して心豊かに暮らせるまち。多様な産業を育て、生きがいをもって働くことのできる、「活気」にあふれたまちを目指して、東松島一心(一進)となって未来へ向かい、2050年には、自然災害から立ち直った象徴的なまちとして世界各国からの来訪者を招き入れ、国内で最も住民が誇りをもちながら、健康で安心して暮らすことのできる街づくりを目指している。

また、仙台市宮城野区福田町南一丁目公園仮設住宅くまもとアートポリス「みんなの家」を視察。ここは、東日本大震災において家を失い、避難所や仮設住宅での生活を余儀なくされている方々に、精神的な安らぎを感じられる空間を提供しようと、熊本県と県内建築関係団体など協働で取り組むプロジェクトにより建設されました。

次に、岩手県気仙郡住田町を視察、ここは、森林・林業日本一の町づくり、木質バイオマスエネルギー「森林エネルギーのまち」を目指している町です。地域資源である木質バイオマスに注目し「森林エネルギーのまち」を基本理念として策定した「住田町地域新エネルギービジョン」に基づき、町内の公共施設に木質ペレットボイラーを導入。クリーンエネルギーの地産地消を目指して、木屑焚きボイラーを導入。そこで得られる蒸気を利用した発電施設を整備。バイオマスエネルギーをステップとして産業の振興と調和しながら循環する林業を目指している。又、住田町においては、従前より地元産の木材（主に杉）を利用した戸建ての仮設住宅の検討を進めていたところであり、今回の東日本大震災を受けて、支援金等を活用し、町の専決予算で町有地に仮設住宅を3地区93戸建設をされている。

次に、日本がこれまでに経験したことのない大きな被害を与えた津波被災地域である大船渡市及び陸前高田市をボランティアガイドの案内により現地視察を行った。

文責：村山



やすらぎのある「みんなの家」  
(仙台市)



奇跡の一本松  
(陸前高田市)



木材を利用した仮設住宅  
(住田町)



# 議会全員協議会

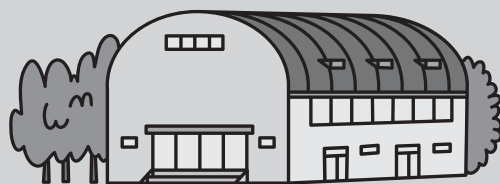


## 協議事項

- ◆平成24年7月19日（木）
  - (1) 湯原地区給水配水施設災害復旧工事について
- ◆平成24年9月12日（水）
  - (1) 消費税増税に伴う病院経営負担減策を求める意見書（案）について
  - (2) 城南ブロック消防広域化についての現況報告
  - (3) 黒肥地石倉（歴史資料館）の設計の概要について
  - (4) 上の原団地譲渡問題について
  - (5) 県立多良木高等学校創立90周年記念事業に対する支援について
  - (6) 地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組」の構築を求める意見書の採択について

## 臨 時 議 会

- ◆平成24年 第4回 8月9日
  - 1 多良木町障害者計画の報告について
    - (1) 健康づくりと障害の発生予防
    - (2) 障害者の自立と社会参加の実現
    - (3) 地域における支援体制の整備
    - (4) バリアフリーのまちづくり推進
  - 2 平成24年度多良木町立黒肥地小学校屋内運動場改築工事請負契約を締結  
契約の総額：1億9,530万円（うち取引に係る消費税額：930万円也）



## 火葬場統合に関する説明不足について町長の謝罪を求める動議

追加日程第1発議第6号の審議後に吉瀬浩一郎議員より

「火葬場統合に関する説明不足について町長の謝罪を求める動議」が提出された。  
以下はその発言の内容。

3千名近い住民の請願書まで提出された重要な問題に関して「議会本会議で説明する必要は全く無いのか」という視点から見たときに、これは明らかな議会軽視である。さらに言うならば、広域行政組合は多良木町議会に一度たりとも説明に来ていない。ここは、やはり、執行部の議会に対する説明不足ということで町長の謝罪が必要ではないか。との理由で動議を提出させていただきたい。

この動議に対して、1名の賛成議員があり、動議としては成立した。しかし、議事手続きや議題に直接関係しない独立した動議であるために、日程の追加を要することから、日程としてあげることについて採決した結果、賛成4・反対7で日程として追加するには至らなかった。

# 平成24年度「議会報告会への参加有難うございました」

去る7月23日・25日・27日に多良木3地区（久米・黒肥地・多良木）をそれぞれ3日間、3会場の合計9回、議員が3班に分かれて町内各会場に出向き3月定例議会（新年度予算）から6月定例議会までの審議状況や町の動きについて報告しました。又、会場に参加頂いた住民の皆様から地域の現状や課題等について貴重なご意見を頂き、有難うございました。

意見は議会に持ち帰り、町執行部や議会での協議としました。お答え出来るものについては11月中に皆様に配布致します。

## 平成24年度 議会報告会アンケート結果集計表

平成24年8月28日

### ① あなたが議会報告会に出席されたのは、どの会場ですか。

	多良木	久米	黒肥地	未提出者	計
7月23日	14	11	10	2	37
7月25日	26	9	11	4	50
7月27日	17	14	12	1	44
計	57	34	33	7	131
構成割合(%)	43.5	26.0	25.2	5.3	100.0

### 全地区

	出席者数	町民	職員	計
7月23日	21	16	37	
7月25日	24	26	50	
7月27日	19	25	44	
計	64	67	131	
構成割合(%)	48.9	51.5	100.0	

### ② あなたの年齢は。

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	未回答	計
7月23日	0	1	7	3	11	6	7	0	0	35
7月25日	0	7	8	7	2	14	5	3	0	46
7月27日	1	6	9	1	8	7	10	1	0	43
計	1	14	24	11	21	27	22	4	0	124
構成割合(%)	0.8	11.3	19.4	8.9	16.9	21.8	17.7	3.2	0.0	100.0

### ③ あなたの性別は。

	男	女	未回答	計
7月23日	28	7	0	35
7月25日	26	20	0	46
7月27日	32	11	0	43
計	86	38	0	124
構成割合(%)	69.4	30.6	0.0	100.0

議会報告会アンケート結果集計  
全地域出席者合計は131名でした。

### ④ あなたのご職業は。

	農業	会社員	その他の職業	無職	未回答	計
7月23日	5	3	20	7	0	35
7月25日	9	4	24	8	1	46
7月27日	7	5	23	7	1	43
計	21	12	67	22	2	124
構成割合(%)	16.9	9.7	54.0	17.7	1.6	100.0

### ⑤ 議会報告会の開催日について

	平日	土日	どちらでも	未回答	計
7月23日	16	1	17	1	35
7月25日	26	2	17	1	46
7月27日	25	3	15	0	43
計	67	6	49	2	124
構成割合(%)	54.0	4.8	39.5	1.6	100.0

### ⑥ 所要時間（1時間30分）について

	ちょうど良い	短い	長い	未回答	計
7月23日	29	1	4	1	35
7月25日	31	5	9	1	46
7月27日	38	1	2	2	43
計	98	7	15	4	124
構成割合(%)	79.0	5.6	12.1	3.2	100.0

### ⑦ 今回は、多良木・久米・黒肥地それぞれ3つの会場にわけて開催しましたが

	ちょうど良い	増やす	減らす	未回答	計
7月23日	24	1	6	4	35
7月25日	38	1	5	2	46
7月27日	31	2	7	3	43
計	93	4	18	9	124
構成割合(%)	75.0	3.2	14.5	7.3	100.0

### ⑧ 議員の説明について

	わかりやすい	わかりにくい	どちらでもない	未回答	計
7月23日	16	4	14	1	35
7月25日	23	4	15	4	46
7月27日	28	2	10	3	43
計	67	10	39	8	124
構成割合(%)	54.0	8.1	31.5	6.5	100.0

### ⑨ 開始時間（午後7時）について ※夏は早い。（多良木地区）

	ちょうど良い	早い	遅い	未回答	計
7月23日	31	2	1	4	35
7月25日	40	5	1	2	46
7月27日	34	6	2	3	43
計	105	13	4	9	124
構成割合(%)	84.7	10.5	3.2	7.3	100.0



議会報告会（多良木地区）



議会報告会（黒肥地地区）



議会報告会（久米地区）



## 〈区長自治会・町執行部・町議会の3者による懇談会〉

去る8月30日（木曜日）午後3時より、区長自治会・町執行部・議会の3者による懇談会が開催されました。満谷区長自治会副会長の開会、三宅区長自治会会長の挨拶に続き、松本町長、鍋田議長の来賓あいさつの後、三宅会長が進行役となり、町執行部、議会への提案並びに質問事項について、あらかじめ区長自治会により用意された提案と質問事項に沿って会議が進められました。

### ●区長自治会より提案された主な質疑事項は次の通りでした。

1. 区の統合については、行政の積極的関与が必要。
2. 火葬場の存続の再考を区長自治会で。  
黒肥地小学校前に信号機の設置を。
3. 人吉駅から球磨川鉄道乗換階段の手すりの改善検討を。
4. 議員削減及び報酬の見直しはなされているか。
5. 光回線の有機的活用方策等を検討されたい。
6. 町の基幹産業、農林業発展のための今後の方策は。

## 全国町村議会広報研修会報告

### 議会広報に求められるものは？

平成24年7月30日・31日 砂防会館別館会議室にて  
研修者：坂口 幸法・高橋 裕子

#### ありのままに 分かりやすく 住民とともに

1. 書くべきことをきちんと書く  
\*議会情報の的確な取捨選択により、重要な情報を確実に報道する。
2. 政策提案、行政チェック、検証、追跡の姿勢と企画を持つこと。
3. 開かれた議会・議会改革への姿勢を  
\*議会改革に対する取り組みが住民に理解できるような情報を。  
\*住民からの質問、質疑に積極的に応える企画も必要。
4. 住民とともに創る広報の姿勢を  
\*住民＝読者の率直な声と顔の出る常設の企画を持つこと  
\*編集への住民参加（アドバイザー・モニター・写真の公募など）
5. 誰にも分かりやすく、読む気になる広報づくり  
\*読者像は目線を下げ、若い年代層にも読まれる紙面に。  
\*具体的で訴える力のある見出し。

2日間に亘る研修は、内容も豊富で、4部門の各講師の講義も大変興味深く、議会広報誌作成の難しさ、レベルの低さを痛感させられた。広報クリニックとして、講評を受けたので、これを持ってレベルアップを図っていきたい。



球磨郡町村会で、俳優の中原丈雄(人吉・球磨出身)氏をふるさと球磨観光大使に任命しました。(交流館 石倉にて)

## 議会委員会シリーズ ②

### ■総務常任委員会って？

総務常任委員会の委員長 森下 孝幸 副委員長 坂口 幸法  
 議員は？ 委員 鍋田 清高 委員 高橋 裕子 4名です。

所管の課は？ 総務課：電算情報係・管財・防災消防係  
 企画観光課：企画改革係・商工観光係  
 税務課：住民税係・固定資産係・収納係  
 会計室(会計管理者)：会計係  
 選挙管理委員会  
 監査委員

定例会議の会期中に於いて、総務常任委員会所管課より、各種事業内容・進捗状況の説明を受け、質疑します。

### 9月の定例議会終了後の閉会中の継続審議は？

- (1) 道州制・地域主権改革問題についての陳情書
- (2) 建築事業に関する設計・監理業務を人吉球磨建築設計事務所協会の会員に委託する要望について
- (3) 多良木町条例等改正について
- (4) 町総事業計画について
- (5) 滞納税収納向上対策について
- (6) 町有地利用調査について

以上の審査及び調査を申し出ています。

### 表紙の説明

## 第63回 球磨畜産 共進会

### ■種牛の部

育成牛1部 名誉賞首席  
 名号 なつ号 出品者 尾方利昭  
 グランドチャンピオン  
 育成牛2部 名誉賞首席  
 名号 ふくこ号 出品者 尾方 稔

### ■飼料作物

乾燥の部 名誉賞首席  
 草種 イタリアンライグラス  
 グランドチャンピオン  
 出品者 中村順三郎

## 編集後記

▼今回、広報委員となって6冊目の議会だより第87号の発行である。7月に全国町村議会広報研修会へ参加し、二日間きつしりてきたが、トムで講義・指導を受けたが、情報の多さ・紙面の多さ・井で例えれば大盛り！という印象であったが、素晴らしいと思ったのは、開度・住民参加への細やかな配慮。読んでから見るものがあつた。評価も講師にあり様々ではあるが、インパクトのある紙面づくりについては共通してある。▼多良木町には各家庭に配布される「議会だより」と「広報たらぎ」があるが各事業について(全然知らんや)という批判の声を聞くことがあつた。▼情報は回覧板で回るともあつた。▼各種の情報を伝える目的でないという誤解である。読まれる紙面づくりをしなくてはならない。▼町づくり・町の活性化というものは、住民が町に関心を持つこと、地域で自分ごととして取り組むこと、参加する事、そういったことである。▼広報誌は重要な情報源である。偶々まで読んで頂きたいと願つて、発行を楽しみにして待つていますと言つて頂けるよう、年齢に関係なく読んで頂けるよう、努力を重ねて参ります。これからの取材等々へのご協力、宜しくお願い致します。

文責 高橋裕子

### 広報特別委員会構成

- ◎ 瀬崎 哲弘 魚住 憲一
- 坂口 幸法 村山 昇
- 吉瀬浩一郎 高橋 裕子